



# 地域企業と連携した先端施設の活用及び就業体験の実施等授業の充実と単位認定の研究

- キャリアコーディネーター等を活用した外部機関との連携
- 地域企業の人材や設備等を活用したキャリア教育に関する学校設定科目の研究
- 長期インターンシップの運営方法やカリキュラムに関する研究

## 目指す学校像

### 1 教育目標

校訓「明朗・誠実・敬愛」の精神に基づき、生徒の自立性の確立、社会性の育成、創造性の伸長を図り、将来の社会人としての高い規範意識と優れた感性、豊かな人間性を備え、時代の変化の中で**主体的に生きる地域のリーダーとなる人材**を、全職員が一丸となって育成する。

### 2 目標具現化の柱

学校の安心・安全の確立、魅力ある教育の研究・実践、地域との連携・協働の推進を重点に、全職員の以下の取組により、生徒は「自尊感情」を高め、職員は自己の資質・能力及び学校の組織力を向上させることを目指す。

## 現状と課題

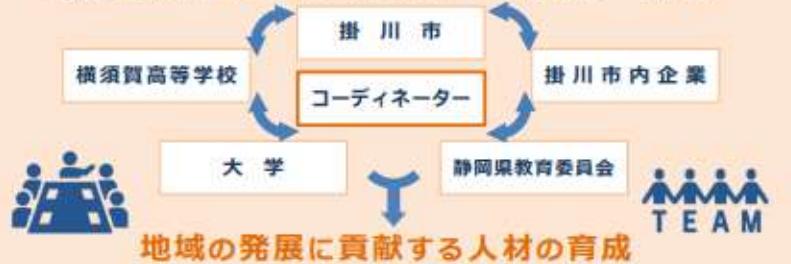
### 1 学校の課題

・従来のキャリア教育では「進路実現」までをゴールとしていたが、生徒と企業の間には「ミスマッチ」や「ギャップ」が少なからず存在し、それらが「早期離職」等の増加につながっている。「効果的な就業体験」を実施することで、課題の改善を図り、充実したキャリア教育を展開したい。そのためには、学校だけでなく、自治体や地域企業との連携・協働が不可欠であり、学校・地域・企業に精通したコーディネーターの選定、それらをまとめるコンソーシアムの運営などに「チーム学校」として、これらの課題解決に取り組みたい。

### 2 生徒の課題

・地域の魅力や地域の企業についての知識や情報が不足しており、地域に対する理解が十分に深まっていない。総合的な探究の時間で「地域」をテーマとした研究に取り組んでいるが、その成果が、生徒の**主体的な職業観の醸成に十分に生かされていない**。  
・地域とより密接な形でキャリア探求を推進することで、地域の一員であるという自覚を持つとともに、自らのキャリア形成に対するより高い意識を身に付けさせたい。

## 横須賀高校 | グローカル・ハイスクール | コンソーシアム



## 3年間のロードマップ

| 構想・検証・検討・改善・実践 |

### 新しい形での就業体験の実施・キャリア報告会の実施・単位認定の検討

#### 3年目

- 高校魅力化
- 情報発信
- グローカル人材
- 単位認定
- キャリア報告会
- 就業体験

3年間に及ぶ「地域と連携した新しい形での就業体験」に取組んだ3年生は、自立的進路選択能力が身に付き、地域の魅力や地域の企業を熟知した「グローカルな人材」として、卒業後も地域に貢献できる存在となる。

充実したキャリア教育の実践について、地域の中学生や地域企業に向けて、さまざまな手段で積極的に情報を発信し、地域の魅力を伝え、共有し、地域への貢献活動に取り組むことで、「高校魅力化」を推進する。

2学年において、前年度の課題が改善された「新しい形での就業体験」を実施する。実施後には受入企業担当者を招聘し、「就業体験報告会」を校内で開催し、就業体験の成果等を共有する。

3学年においては、「総合的な探究の時間」のキャリア教育として、1年生・2年生に向けた「キャリア報告会」を実施する。  
教育課程における「就業体験」の単位認定について検討を行う。

### 新しい形での就業体験を実施し・成果と課題の検証

#### 2年目

- キャリア教育
- 総合的な探究
- 検証・改善
- 就業体験

専門研究機関と連携し、「新しい形での就業体験」について、指導助言を得ながら、「総合的な探究の時間」の充実に向けて、キャリア教育との関連性や位置づけを考える。また、「単位認定」や「教育課程」に関する情報収集を進め、校内で情報を共有する。

コンソーシアムを中心に、より多角的で充実した体験内容の「新しい形での就業体験」を実施する。就業体験実施後には、コンソーシアムにおいて、成果をまとめるとともに、課題を検証し、次年度の就業体験をよりよいものにできるよう、体験先や活動内容を改善する。

### 新しい就業体験の形を構想

#### 1年目

- |          |         |
|----------|---------|
| コーディネーター | コンソーシアム |
| 情報収集     | 情報共有    |
| 先端施設・企業見 | 調査・視察   |
| 地域連携     | 地域探求    |

本事業に適したコーディネーターの選定を行うとともに、地域連携の核となるコンソーシアムを設立する。コンソーシアムの運営を通して、地域と学校が連携できる多彩な仕組みを構築する。

コンソーシアムとの協働により、先進校の視察や調査、先端施設・企業の見学、企業人材による研修会の開催などを実施するとともに、多様な企業と連携した就業体験等の研究を進める。